

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和5年3月3日

事業所名： はぐくみ学習緑教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		法令を遵守したスペースの確保を行っております。	
	2	職員の配置数は適切である	○		研修等を受講し専門分野の指導員を心がけている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		施設内はバリアフリーに対応済み	テナント二階部分に位置しエレベーターがなく階段のみのため、必要に応じ対応できる体制を要検討。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		職員間でのコミュニケーションを密に行いPDCAサイクル全てに関わりを持ち業務の遂行にあたっております。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			評価して頂いた改善点を抜粋し職員間で話し合い時間のかかることもありますが改善につなげています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		ホームページに掲載	Webで公開しています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		実施できるよう取り組んでまいります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		資質向上の為、研修を受講しています。	
適切な支援へ	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的に情報共有の機会を設けている	今後、保護者との面談、ケース会議、担当者会議、連携での大量の情報量から情報抽出がスムーズに行えるよう、抽象化スキルアップとシステム化し情報の優先順、関連付けできるように準備を進めております。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		児童に合わせたアセスメントツールを用意	個別の学習教材などを準備しております。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			できるだけ学校との連携を行い計画の立案、見直しを行っています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		児童の学習内容に沿った課題を行っております	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		プログラムを立てて個別に作成しております	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	○		基本的には個別で学習していますが、休み時間や長期休暇を利用し集団活動の時間を設けています。	

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和5年3月3日

事業所名： はぐくみ学習緑教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		工夫している点 □ 日々コミュニケーションをとるようにしていますし、各児童のドリルを見れば進行状況など分かるようにしています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		職員間で情報共有できるよう工夫している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日々のお子様の様子等に関しましては、記録に残し職員間で共有出来るようしております	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		半年に一度のモニタリングを行い計画の見直しを行っています。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○			
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		連絡ツールより毎月確認を行っております。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			現在医療的ケアが必要な児童や重症心身障の児童の利用はありませんが、児童の主治医(又はかかりつけ医療機関)をしっかり把握し緊急時に備えています。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○		現在、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等の児童の利用はありません。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○	該当者なし	
	25	児童発達支援センターや発達障がい者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		連絡をいただいたり、こちらからすることもあります。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している		○		
28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		日々の子供の様子成長について伝えあい共通理解に努める		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表： 令和5年3月3日

事業所名： はぐくみ学習緑教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		面談の提案をし必要に応じて対応している	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		見学・契約時に対応している	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		相談があれば実施している	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		春頃を目安に行う予定です。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		ホームページや連絡ツールより発信しております。	
	35	個人情報に十分注意している	○			個人情報に記載された書類は鍵付きキャビネットにて保管しております。プライバシーポリシーを策定し職員間で共有しております。外部メディア、クラウドの使用禁止しております。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			全職員が人の心の痛みを念頭に置き対応しております。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			今学期は予定していた訓練がコロナの影響で
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修を受講し職員間で共有しております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している		○	現在は該当者なしだが説明はしている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	該当者なし	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			